



11月8日、9日の2日間、明石市で開催された第58次兵庫県教育研究集会に、教職員、子ども、保護者・地

第56次県教研

ひょうご教育フェスティバル

保護者・地域とともに

過去最高の参加者を得る
教職員、子ども、保護者・地域の方々、のべ6,000人

オープニング



兵教組執行委員長 山名 幸一

学びあい、交流を深めていただきたい」とあいさつした。

一執行委員長は、「私たち大人には、子どもたち一人ひとりの人間的成長を豊かに育み、子どもたちが将来夢や希望が持てるような社会にしていく責任がある。ひょうご教育フェスティバルは、兵庫の教職員の自発的・創造的な教育活動として58年の歴史を刻んできた。その成果は、兵庫の教育の充実と発展に大きな貢献を果たしてきたと確信している。本集会に保護者や地域の方々、働く仲間のみならず、行政や議員の皆さんも、幅広く参加していただき、子どもを中心に据え、教職員と語り合い、



兵教組教育長 吉本 知之



連合兵庫会長 森本 洋平



PTA 協議会副会長 吉野 雅文



兵庫県知事 井戸 敏三



ブラジル教育文化交流訪日団 ロレッタナ パオリエリ・パンセラ



明石市長 北口 寛人

「現在の子育てにもとめられているもの〜同和・人権教育の成果を継承して〜」野口克海さん記念講演より

現場にある。子どもたちと向き合い、ふれあい、話し合い、理解しあう、はじめて本場に大切なものが何かならぬ。自分で考える力、判断できる力、生きていく力をつける。そのアシストを学校、地域、家庭が一体となり推進することが重要。教育の主役は子どもたち。私たち関係者が名脇役となり、日本の将来を担う人づくりにとりにくんでいきたい」と語った。

井戸敏三・兵庫県知事は、「教育とは人たるものを、自分は何なのかを見つめるための営み。今の子どもたちには、人と人が支えあう、コミュニケーション能力が少し欠けているのではないか。情報機器に没入してしまう現象の背後には、コミュニケーションが欠けてしまった家庭、地域、社会があるのではないか。

お父さん、お母さん、子どもたちのあまりにも違いすぎている生活パターンに、共通の家庭・地域の輪を作っていくことが必要ではないか。そのような問題意識、議論を大いに期待する」とあいさつ。

北口寛人・明石市長は、「16年前の11月9日、ベルリンの壁が崩壊した。東西冷戦が終わり、人と人がイデオロギーを越え、新しい秩序を作り始めた日。そして今、アメリカでは黒人のオバマさんが大統領に選ばれ、人種を超える歴史的瞬間を迎えた。彼は『We can Believe』(私たちは信じて)これはアメリカ国民だけに呼びかけたわけではない。今の世界を変えていく、私たち皆が壁を越えて協力すれば必ずできると訴えている。人は人を導くことができる。そして支えることもできる。だから人が人を教育する。私たち明石市・明石市教育委員会は、教職員組合・先生たちを信じます。そして地域の人たち、教育現場を信じてほしい協力をしてほしいと、これからも訴え続けていく」と力強いあいさつがあった。

吉本知之・兵庫県教育長、吉野雅文・東播磨・北播磨地区市郡連合PTA協議会副会長、ロレッタナパオリエリ・パンセラ・ブラジル教育文化交流訪日団、それぞれの立場から、学校、家庭、地域社会が一体となり、兵庫の子どもたちの教育にとりくんでいく姿勢や願いを込めたあいさつがあった。

また、第29回「兵教組文化賞」は、芝野文子さん、由田耕一さん、岡田龍一さん、若屋ユニオンアンサンブルのみなさんが表彰された。(次号要旨掲載)

記念講演は、野口克海・大阪教育大学監事による「現在の子育てにもとめら

子どもと親の劇場 貞松・浜田バレエ団



昨年引き続き、貞松・浜田バレエ団の公演がおこなわれた。参加者からの感想に、「子どもにとり、初めてのバレエ。分かりやすい内容で、楽しく鑑賞することができた。特に『動物たちのカーニバル』は楽しかったらしく、帰宅途中、ずっと火の鳥やカメ、ウサギの話をしていった。そして『またまたいなかー!』の一言。素晴らしい公演を本当にありがとうございました」とあった。

分科会は、今次教研の計画として、380本のレポートのうち、23本が保護者・地域の方々のリポート。日々の現場の教育活動や実践の交流など、活発な討議がなされた。(次号要旨掲載)

子どもの育ちを考えるシンポジウム (新年号にて要旨掲載)

子どもを育ちを考えるシンポジウムは、「子どもと人権教育の成果を継承して」を演題に講演があった。

参加者にとっては、笑いあり涙ありの感慨深い講演となった。

分科会は、今次教研の計画として、380本のレポートのうち、23本が保護者・地域の方々のリポート。日々の現場の教育活動や実践の交流など、活発な討議がなされた。(次号要旨掲載)

子どもの育ちを考えるシンポジウム (新年号にて要旨掲載)



明石市立大久保北中学校の吹奏楽部61名による演奏がオープニングを飾った。「魔法にかけられて」「名探偵コナン」「崖の上のポニョ」のかわいく、心あたたまる演奏に、参加者は自然と笑顔になっていた。

一生の保障(死亡・高度障害)がいざというときは、老後の資金に!!

〈月払型〉新・終身共済 (終身生命共済)

ご契約例

契約年齢25歳で基本契約200万円の契約をした場合

掛金が安いうちに まずは基本契約に入っておこう!

※契約後に増額したり定期生命特約をつけることもできます

基本契約 200万円(一生保障)	60歳(35年後)	70歳(45年後)	80歳(55年後)
契約年齢	女性25歳の場合	男性25歳の場合	
月払掛金	2,860円	2,980円	
60歳までの払込掛金	1,201,200円	1,251,600円	
解約返戻金	1,358,180円 (113%)	1,406,820円 (112%)	
解約返戻金	1,550,680円 (129%)	1,591,480円 (127%)	
解約返戻金	1,735,240円 (144%)	1,759,940円 (140%)	

※解約した場合は解約返戻金が支払われ、以後の保障はなくなります

※契約後、短期間で解約された場合の解約返戻金は、払込掛金を大きく下回ります。

この広告は新・終身共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。制度内容をご確認ください。

教職員共済生活協同組合 兵庫県支部 TEL 078-221-9730
神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4F

承 08-56-08(0806)

